

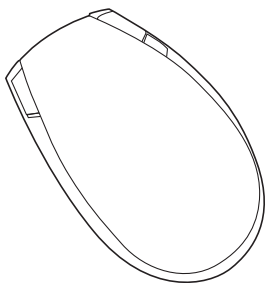
MA-TOUCH2MAC

MA-TOUCH2

007-AA0213

MA-TOUCH2RC

007-AA0214



最初に
ご確認ください

- セット内容**
- マウス本体 …………… 1台
 - 超小型レシーバー …………… 1台
 - 単四電池(テスト用) …… 2本
 - 取扱説明書 …………… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 健康に関する注意
- 警告
- 対応機種・対応OS
- 接続手順
- 各部の名称とはたらき
- マウスの準備(電池の入れ方)
- マウスの接続(レシーバーの接続)
- ID(チャンネル)の設定方法
- 本製品の使い方
- 「故障かな…」と思ったら
- オンライン製品サポート
- 保証規定

1.はじめに

この度は、ワイヤレスタッチセンサーマウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

2.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。
マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のパソコン操作では定期的な休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

3.警告

■テレビ・ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのパソコン機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のパソコンシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認ください。電源を切るにより受信障害が解消されれば、ご利用のパソコン、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のパソコンシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にパソコンを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにパソコンを接続してください。
●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4.対応機種・対応OS

■対応機種

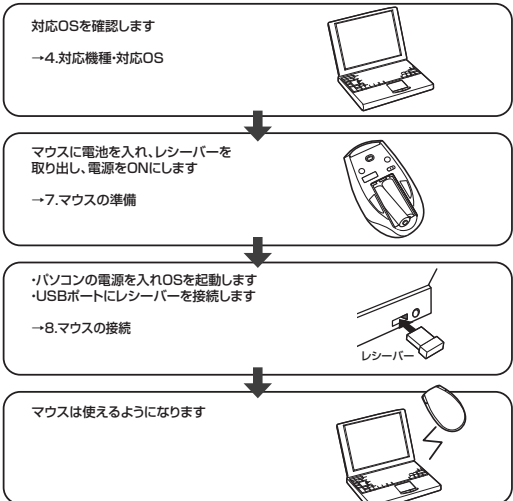
- Apple Macシリーズ
- USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種

■対応OS

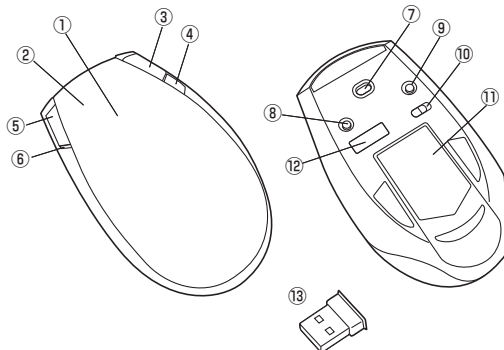
- Mac OS X(10.2以降)
- ※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット、及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
- ※Mac OS X 10.7(Lion)以降の場合、OSの仕様上、スクロール方向が上下反対になっている場合があるため、スクロールが逆になります。通常のスクロール方向へ設定したい場合は、「システム環境設定」→「マウス」→「スクロール方向:ナチュラル」にあるチェックを外してください。
- ※機種により対応できないものもあります。
- ※この文庫中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

5.接続手順

詳細は各ページをご覧ください。



6.各部の名称とはたらき



① マルチタッチボタン …… マルチタッチセンサーを搭載した大型ボタンです。通常のクリック、ダブルクリックに加え、マウス表面をタッチするだけで、縦横スクロール、スワイプなどの直感操作が行えます。

主な機能 ※詳しくは、「10.本製品の使い方」参照

- スクロール機能 …… インターネットやドキュメント画面を上下にスクロールさせる際、一本の指を前後にスライドさせます。また、左右にスクロールさせる際は、左右にスライドさせます。
- スワイプ機能 …… インターネット操作で便利な「戻る」「進む」機能を使用の際は、マルチタッチボタン上を二本指で左右にスライドさせます。

- ② 左ボタン機能 …… 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。
- ③ 右ボタン機能 …… 右ボタンはアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示もすることができます。
- ④ モード切替えボタン …… マルチタッチボタンのモードを切替えます。(モード表示LED付)ご使用中のモードによりLEDの色が変わります。 ※詳しくは、「10.本製品の使い方」参照
- ⑤ Exposeボタン …… 開いているファイルが一覧できます。
- ⑥ 電池残量LED …… 電池が入った状態で電源スイッチをONにした際、電池残量LEDがしばらくの間点灯し、電源がONになったことを表示します。マウスを操作中にLEDが点滅を続けた際は電池が少なくなっていますので、すみやかに電池を交換してください。
- ⑦ レーザーセンサー …… 光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。
※レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けてください。
- ⑧ カウント切替えボタン …… カウント切替えボタンを押すと、カーソルスピード(分解能)を800→1600→800カウントに切替えることができます。
- ⑨ ID設定ボタン …… マウス本体とレシーバー間のIDが無効になった際、再度IDの設定を行うことができます。 ※通常使用中にこのボタンを押しても機能しません。

<ID再設定方法>

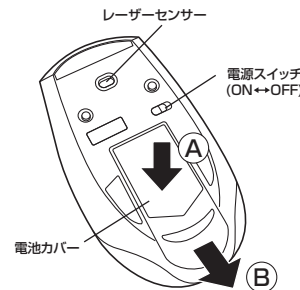
- 1.パソコンのOSが立ち上がっている状態で、マウスの電源をONにします。
- 2.レシーバーをパソコンのUSBポートに差し込み、10秒以内にマウスのID設定ボタンを押します。
- 3.少しの間マウスは動作しませんが、すぐに動作するようになり、設定は完了します。

- ⑩ 電源スイッチ …… マウス本体の電源をON-OFFします。
- ⑪ 電池カバー …… このカバーを取外して、電池を入れます。
- ⑫ レシーバー収納スロット …… レシーバーを収納することができます。
- ⑬ 超小型レシーバー …… 15×18mmの極小レシーバーなので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りわずか8mm。装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

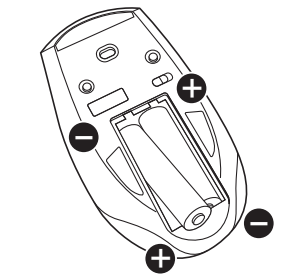
7.マウスの準備(電池の入れ方)

- 1.電池カバーを押しながらⒶ、Ⓑの方向にスライドさせて電池カバーを取外します。
<図A>
- 2.付属の単四電池をマウスに入れます。
※電池を入れる際は、Ⓒ側を先に入れ、それからⒹ側を入れてください。<図B>
- 3.電池カバーを、取外したときの手順と逆の手順で取付けます。
- 4.電源スイッチをONにすると、電池残量LEDが点灯し、すぐに消灯します。<図C>
※マウスを動作させている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり、電池残量LEDが点滅を続けたら、電池を交換してください。
※電池交換の際は、新品の単四アルカリ乾電池を2本ご使用ください。(付属の電池はテスト用ですので、寿命が短くなっています。)
※異なったメーカーの電池を組合わせて使用しないでください。
※電池交換の際は、マウスでの電源をOFFの状態で行ってください。
※空になった電池をマウス内にそのまま置いておくと液漏れの原因になりますので、取出しておいてください。

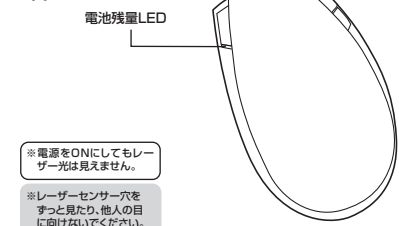
<図A>



<図B>



<図C>



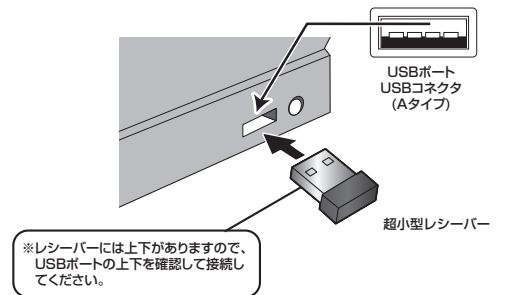
※電源をONにしてもレーザー光は見えません。
※レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けてください。

8. マウスの接続 (レシーバーの接続)

■レシーバーを接続

※注意: マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。

- ① パソコンの電源を入れ、OSを完全に起動します。
- ② レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。
- ③ ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

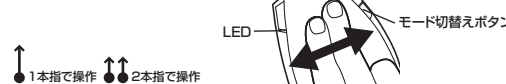


9. ID(チャンネル)の設定方法

※重要(必ずお読みください)
レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでないことがあります。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくして、マウスの電池残量LEDが点滅を繰り返したり、マウスが動かなくなった場合は、すみやかに電池を交換してください。

10. 本製品の使い方

■マウス操作方法



番号	モード切替えボタン	機能	ジェスチャー	機能	ジェスチャー
1	モード1 LED消灯	上にスクロール	↑	下にスクロール	↓
2		左にスクロール	←	右にスクロール	→
3	モード2 赤色LED 点灯	上にスクロール	↑	下にスクロール	↓
4		左にスクロール	←	右にスクロール	→
5		進む	⇐⇒	戻る	⇒⇐
6		ページアップ	⇧	ページダウン	⇩
7	モード3 緑色LED 点灯	上にスクロール	↑	下にスクロール	↓
8		左にスクロール	←	右にスクロール	→
9		左にスワイプ	⇐⇐	右にスワイプ	⇒⇒
10		Expose	⇧⇩	Desktop	⇩⇧

11. 「故障かな…」と思ったら

- Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。**
- A. 1. マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。 ※"7. マウスの準備(電池の入れ方)"参照
2. レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。 ※"8. マウスの接続(レシーバーの接続)"参照
3. 付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんので、新しい電池に交換してください。 ※"7. マウスの準備(電池の入れ方)"参照
4. 電池を交換してもマウスが動作しない場合、IDの再設定を行ってください。 ※詳しくは、"6. 各部の名称とはたらき"参照

- Q. マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。**
- A. 本製品は、電池の消費を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ることがあります。マウスを復帰させるには、右ボタンや左ボタンを押してください。マウスが復帰する際、多少時間がかかることがあります。

- Q. マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。**
- A. 1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご利用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
2. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご利用になってみてください。
3. ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線通信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャネルが切替わるという機能が付いています。チャネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなる場合がありますが、チャネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。
4. レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1)などを使って、レシーバーを見える位置に出してください。

- Q. Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。**
- A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

12. オンライン製品サポート



お問い合わせは弊社WEBサイト
(<http://www.sanwa.co.jp/>)より
「サポート」
→「お問い合わせ窓口一覧」
→「製品について」
→「マウス」
のリンクをたどり、WEBでのお問い合わせ
「入力フォームはこちら」に必要事項を記入
して送信してください。

13. 保証規定

- 1) 保証期間内に正常な使用状態でご利用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありまた故障による、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2) 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
① 保証書をご提示いただけない場合。
② 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
③ 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
④ 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
⑤ 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外要因による故障及び損傷。
3) お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負いません。
5) 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7) 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様の負担となります。
8) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9) 保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

■ サポート情報
■ よくある質問(Q&A)
■ ドライバのダウンロード
■ 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼ トップページから
▼ サポートページへ

各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2012.12現在

岡山 サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京 サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8890
 仙台営業所 / 〒980-0851 仙台市宮城野区富岡1-6-37 東栄仙台ビル TEL.022-257-4639 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒460-0015 名古屋市中区権町1-6-7 カシヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒538-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 / 〒812-0002 福岡市博多区博多駅前中央ビル8-20 博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078